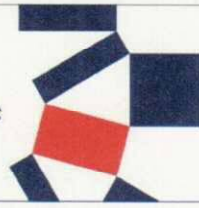


文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

文化
オリンピックアード



PRESS Release
報道関係各位

2019年（令和元年）8月14日
東京キャラバン広報事務局

新たなリーディングアーティストを迎えて“文化混流”に挑戦!

東京キャラバン in 埼玉

日時：2019年10月13日（日）16:15 / 会場：大宮公園・埼玉百年の森内特設会場

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムであり、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の公認文化オリンピックアードのひとつである「東京キャラバン」では、2019年10月13日（日）に、埼玉県さいたま市大宮区の大宮公園・埼玉百年の森内特設会場にて、「東京キャラバン in 埼玉」を開催いたします（観覧無料）。

「東京キャラバン」は、野田秀樹（劇作家・演出家・役者） 総監修のもと、言語や国境、表現ジャンルを超えた多種多様なアーティストたちへの参加を呼びかけ、これまでおおよそ交わることのなかった表現者同士の“文化混流”を実現させることで、新しい表現によるパフォーマンスを創出し続けている“旅する文化ムーブメント”です。

日本中を巻き込み、東京2020大会以降の未来へと続く文化活動のプラットフォームになることを目指し、芸術文化界で活躍する著名人や新しい才能と若きパワー溢れる表現者たちを迎え、全国各地で「文化サーカス」を繰り広げています。

埼玉県の躍動感あふれる文化と東京のアーティストとが巡り会い、新しいパフォーマンスの可能性を広げる！

「東京キャラバン in 埼玉」では、心に刻まれるオリジナル楽曲とエネルギッシュなパフォーマンスによる独創的な音楽劇で人気を博す「FUKAIPRODUCE羽衣」の糸井幸之介と深井順子、そして日本のコンテンポラリーダンス界の第一線で活躍する振付家・ダンサーの黒田育世がタッグを組み、リーディングアーティストを務めます。

木々の緑も深みを増す6月、3人は創作の糸口を見つけに埼玉県内を巡り、歴史や風土、その土地に生きる人々が大切にしてきた文化などをリサーチしました。そして今回、東京から参加する俳優・ダンサーのほか、秩父音頭やスティールパンバンドなど埼玉で活躍する伝統芸能の担い手や表現者たちが、3人のリーディングアーティストとともにジャンルを超えた“文化混流”に挑戦。新しい表現によるパフォーマンスを創作します。

東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわきを旅して、進化してきた旅する文化ムーブメントが、埼玉でどんな文化の種を蒔き、“わくわく”と“どきどき”を掻き立てるのか。2020年のその先へと続く物語にどうぞご期待ください!!



糸井幸之介



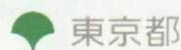
深井順子



黒田育世

開催概要

- 名称 : 東京キャラバン in 埼玉
日程 : 2019年10月13日(日) 16:15~
会場 : 大宮公園・埼玉百年の森内特設会場 (埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4)
※「埼玉 WABI SABI 大祭典 2019」と同時開催
※雨天時は大宮公園体育館にて実施
- 観覧 : 無料、事前予約不要
- 参加アーティスト : 糸井幸之介 / 深井順子(FUKAIPRODUCE羽衣)、黒田育世(振付家・ダンサー)、
石川朝日(俳優)、大石丈太郎(俳優)、澤田慎司(俳優)、代田正彦(俳優)、日高啓介
(俳優)、山森大輔(俳優)、Steelpan Band -Pele- & Colors、皆野民俗芸能奏楽研修会
(秩父音頭)、小松陽佳留(衣装)、青木兼治(映像)、金子愛帆(写真)
- 東京キャラバン総監修: 野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
- 主催 : 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、埼玉県
後援 : さいたま市
問い合わせ先 : info@tokyocaravan.jp



インターネットライブ中継

「東京キャラバン in 埼玉」をより多くの方にご覧いただけるよう、公式WEBサイトにてライブ中継いたします。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。<http://tokyocaravan.jp>

※出演者やプログラムは予告なく変更になる場合があります。

キャラバンってなんだろう？

ラクダを引いた楽団みたいなのかな？

どこから来てどこへ行くかなんて、全然興味がないけれど、僕は、東京から来て埼玉へ行くのかな？

そんなこと言っても、家から三つ隣の駅は埼玉だし……

知らないところで知らない人たちと、できるだけ素敵な、できればスペシャルな、時間を過ごしたいと思っています。

つまり、それは、人生です。

糸井幸之介 (劇作家・演出家・音楽家)

ずっと参加してみたいと心がうずうずしていました。やっときたー！嬉しいです。そうして緑の多い大宮公園でやれる事。秋の頃は少し紅色の葉もあるのかもしれませんが、それもいいなー。野外でやるのは楽しい。そして今回は秩父音頭とスティールパンが入って共に作品を作ります。今まで挑戦したことのないことなのでわくわくしています。芸術がお祭りになったらきっと成功です。黒田さんの振付もどきどきです。みなさんと夢みたいな時間を過ごしたい！過ごしましょう！

深井順子 (俳優・「FUKAIPRODUCE羽衣」主宰)

小さな盆栽の木陰に潜り込んで下から枝振りを見上げると自分が小人になってその盆栽が大切にしてきた(されてきた)時間に流れ着いた旅だった！(東京キャラバンに向けた視察時の大宮の盆栽美術館での奇跡のような体験)

埼玉に潜り込んで文化を見上げてみると自分が旅人の小人になって埼玉の方々大切にしてきたこと(されてきたもの)を改めて大切に新しい文化の流れになる！

黒田育世 (振付家・ダンサー・「BATIK」主宰)

「東京キャラバン」とは？

「東京キャラバン」は、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団が2020年に向けて、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラムとして実施しています。劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超えて、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げ、それぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを各地で展開しています。「東京2020オリンピック・パラリンピック」の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして実施した2015年の東京・駒沢に始まり、2016年にリオデジャネイロ、東北(仙台・相馬)、六本木、2017年は京都(二条城・亀岡)、八王子、熊本にて、松たか子(女優)、中納良恵/EGO-WRAPPIN'(ミュージシャン)、津村禮次郎(能楽師)、2018年は豊田、高知、秋田にて、黒木華(女優)、熊谷和徳(タップダンサー)、チャラン・ポ・ランタン(アーティスト)など芸術文化界で活躍する様々な著名人が参加し、それぞれの圧倒的なパフォーマンスで48,600人以上の観覧者を魅了しました。2017年度からは「東京2020公認文化オリンピアド」として本格始動し、日本全国の自治体(道府県、政令指定都市、中核市)の中から立候補を募り、共感いただいた44の地域から開催候補地を選出し、2019年度はいわき市、埼玉県、富山県、岡山県、北海道での実施が決定しました。今後さらに全国各地で「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を超えた交流を継続的に図ることで、東京2020大会以降の文化的な基盤を創っていきます。

東京キャラバン公式ウェブサイト:<http://tokyocaravan.jp>



東京キャラバン in RIO(2016年)

東京キャラバン～プロローグ～(2015年)
撮影:井上嘉和



東京キャラバン in 東北(2016年)

東京キャラバン in 六本木(2016年)
撮影:篠山紀信



東京キャラバン in 京都(2017年)
撮影:井上嘉和

東京キャラバン in 秋田(2018年)
撮影:コンドウダイスケ

本リリースに関するメディアお問い合わせ先
東京キャラバン広報事務局 担当:岩川・銭谷
TEL: 03-6826-8708 Email: press@tokyocaravan.jp

参加アーティスト from 東京キャラバン

リーディングアーティスト:糸井幸之介(劇作家・演出家・音楽家)



2004年に女優の深井順子により旗揚げされたFUKAIPRODUCE羽衣の全作品で作・演出・音楽を手掛ける。芝居と音楽を融合した独自の作風を“妙一ジカル”と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残るオリジナル楽曲で高い評価を得ている。第22回公演『瞬間光年』(2017年上演)にて、第62回岸田國土戯曲賞最終候補となる。公益財団法人セゾン文化財団シニア・フェロー。

リーディングアーティスト:深井順子(俳優・「FUKAIPRODUCE羽衣」主宰)



撮影:杉田協士

1996年から99年まで劇団唐組に在籍。04年に、糸井幸之介の生み出す唯一無二の“妙一ジカル”を上演するための団体、FUKAIPRODUCE羽衣を設立。全公演に出演、及びプロデュースを行う。演劇公演のみならず09年からLIVE活動を開始。中高生向けのワークショップの講師や、野田地図『エッグ』『MIWA』に出演するなど、活動の範囲を広げている。

リーディングアーティスト:黒田育世(振付家・ダンサー・「BATIK」主宰)



撮影:池谷友秀

6歳よりクラシックバレエを始め、97年渡英、コンテンポラリーダンスを学ぶ。02年BATIKを設立。バレエテクニックを基礎に、身体を極限まで追いつめる過激でダイナミックな振付は、踊りが持つ本来的な衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。03年トヨタコレオグラフィーアワード「次代を担う振付家賞」「オーディエンス賞」、04年「朝日舞台芸術賞」、06年「舞踊批評家協会賞」、10年「第4回日本ダンスフォーラム賞」、15年「第9回日本ダンスフォーラム賞」を受賞。BATIKでの活動に加え、金森稜率いるNoism05、鉛屋法水、古川日出男、笠井勲、野田秀樹、串田和美など様々なアーティストとのクリエイションも多い。

石川朝日(俳優)



1995年生まれ。多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科に一期生として入学。2年間にわたり、演劇と舞踏を学ぶ。その後自身のクリエイションの場としてgentenを設立。旗揚げ公演『赤鬼』(野田秀樹作)で東京、石巻で公演をする。その後多摩美術大学を中退し、渡仏。パリのJacques Lecoq国際演劇学校に入学。世界各国から集まった人たちと2年間にわたる学業を2019年6月に終える。その後日本に帰国し、現在は、自身がパリで学んだことがどう日本人の身体につながるのかを模索中。

大石丈太郎(俳優)



埼玉県さいたま市出身。浦和市立高校(現さいたま市立浦和高校)時代に大宮公園弓道場へ練習、大会と頻繁に通う。大学で演劇に出会い俳優の道へ。大宮公園へ初凱旋。富士山アネット、てがみ座、コトリ会議、未國ミュージカル『いのちでんこ』、思考動物『ルルコのおはなし』、PARCO PRODUCE『タンゴ・冬の終わりに』、など舞台出演多数。近年は乳幼児向けの作品も含め、児童・生徒向けの企画に多く携わる。

澤田慎司(俳優)



静岡県出身。日本大学芸術学部卒。2011年より唯一無二の“妙一ジカル”を上演するFUKAIPRODUCE羽衣のメンバーとなる。演劇公演のほか、定期的にライブ活動も行っている。現代口語演劇から、歌ありダンスありのエンタメまで、ジャンルに縛られない雑食系俳優。劇団では、公演Tシャツのデザインや、稽古場レポート漫画を描くなど、イラストレーターとしても活動の幅を広げている。

代田正彦(俳優)



★☆☆北区AKT STAGE/レトル所属。主な活動に、1997年★☆☆北区つかこうへい劇団入団、以後多くのつかこうへい演出作品に出演。2000年★☆☆北区つかこうへい劇団『二等兵物語』、03年RUPプロデュース『つかこうへいダブルス飛龍伝』。12年★☆☆北区AKT STAGE入団、以後多くの作品に出演。12年★☆☆北区AKT STAGE『広島に原爆を落とす日』、13年FUKAIPRODUCE羽衣『サロメVSヨカナーン』、14年FUKAIPRODUCE羽衣『女装、男装、冬支度』、15年青年団『冒険王』、16年こまばアゴラ演劇学校・無隣館『北限の猿』。

日高啓介(俳優)



1972年宮崎県生まれ。2004年にFUKAIPRODUCE羽衣の旗揚げに参加。後、劇団化にともない劇団員となる。その他、幅広い舞台、映像作品等に出演。FUKAIPRODUCE羽衣では年に一度オリジナル楽曲でライブも行う。2012年、CoRich舞台芸術まつり! 俳優賞受賞。近年の主な出演舞台は、木ノ下歌舞伎『心中天の網島』、サンプル『自慢の息子』、FUKAIPRODUCE羽衣『ヒロトーキングブルース』など。

山森大輔(俳優)



俳優。文学座所属。1980年生まれの松坂世代。東京都出身。大学を休学し、バックパッカーとしてアジア・ヨーロッパを放浪したのち文学座に所属する。主な出演作に、文学座『青べか物語』、ミナモザ『彼らの敵』、FUKAIPRODUCE羽衣『愛死に』(再演)、シス・カンパニー『かもめ』、KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『オイディプスREXXX』、木ノ下歌舞伎『糸井版摂州合邦辻』など。好きな国はインド、タイ。行きたい国はスリランカ。

参加アーティスト・クリエイター from 埼玉

Steelpan Band -Pele-(ペレ)



2003年作曲家の出口雅生により結成される。カリブ海に浮かぶトリニダード島で生まれたスティールパンの情熱的な音色と個性的なアレンジ、楽しさの沸き立つような演奏で多くの観客を魅了し、2007年にはミニアルバム「High-Ace」をリリース。MTVの夏フェス「MTV VIBRATIONS」への参加や、ミュージカルライブ「天使達」で本邦初の全編スティールパンによるミュージカル音楽を制作するなど、その活動は多彩にわたる。カリブソノカなどのトリニダード&トバゴの楽曲からオリジナルの楽曲まで、自由奔放なスタイルでの演奏を行う。
<http://www.pele-steelpan.com/>

Colors(カラース)



埼玉県障害者交流センターで行われた出口雅生氏によるスティールパンワークショップに参加したメンバーを中心に結成。音楽を通してメンバーそれぞれの個性が輝くようにと、バンド名を「Colors」と名付けた。現在メンバーは9名。彩の国バリアフリーコンサート、障害者アートフェスティバル、埼玉県障害者交流センター文化祭り、上木崎公民館コンサートなどで演奏し、「感動した」「元気が出た」などの声を励みに活動を続けている。

皆野民俗芸能奏楽研修会(秩父音頭)



秩父音頭の発祥地、秩父郡皆野町の伝統芸能の保存・後継者育成を行う会。創立者・関根幸一(故)は、昭和20年代に郡内の神楽や獅子舞などの調査に関わる一方で、地元皆野椋神社の獅子舞、神楽、秩父音頭、各種祭囃子など100曲余りの記録を行い、後継者育成のため皆野民俗芸能奏楽研修会を発足させた。本部は貴重な楽譜をもとに講習を続け、現在大人から子供まで大勢の会員が活躍中。町内外一般向けの秩父音頭講習や和楽器体験のワークショップも行っている。